

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		平成 21 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		L-3 メインブローアのVVF化による電力使用量の削減。 スラッジドライヤーにL-3 排熱を利用することにより重油使用量の削減。 C 緩ドライヤーにスーパーヒーターからの排熱を導入することにより重油使用量の削減。 発電機更新により発電の高効率化を図り電力使用量の削減。					
温室効果ガスの排出の量の削減実績	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (平成 19 年度)	目標年度 (平成 22 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (平成 21 年度)	対基準 年度比 (%)
		<input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガス 排出量 A	(二酸化炭素換算(t)) 323, 035t - CO ₂ ①	(二酸化炭素換算(t)) 318, 000t - CO ₂	98.4	(二酸化炭素換算(t)) 339, 138t - CO ₂ ②	105.0
		<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B					
		温室効果ガス排出量と 密接な関係を持つ値 B					
	温室効果ガスの吸収等	区 分	実施年度(平成 年度)				
			取組量等		二酸化炭素換算(t) ③		
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等	(整備面積等)	ha	(吸収量)	t - CO ₂	
<input type="checkbox"/> グリーン電力 の購入	(購入量)	千 kWh	(削減量)	t - CO ₂			
削減量	基準年度 ① (平成 19 年度)	実施年度 (②-③) (平成 21 年度)		対基準年度比 (%)			
	323, 035t - CO ₂	339, 138t - CO ₂		105.0			
特記事項		中国電力の CO ₂ 排出係数について、平成 19 年度、平成 20 年度はデフォルト値の 0.555kg-CO ₂ /kwh を使用したが、平成 21 年度はエネルギー指定工場定期報告書に使用する実排出係数 0.674kg-CO ₂ /kwh を使用した。0.555kg-CO ₂ /kwh を使用した場合、314, 138t-CO ₂ となり、対基準年度比 97.2%となる。					
備 考							

(注)

- 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。
- 「備考」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できなかった理由を含む。）を記入すること。